

会 議 名	令和2年度 木更津駐屯地に関する協議会定例会・区長部会・漁業協同組合部会		
開 催 日	令和2年6月19日(金)	場 所	金田地域交流センター 2階 多目的ホール
時 間	午後6時00分～午後7時20分まで		
出 席 委 員	渡辺委員(木更津市長)、近藤委員(木更津市議会議長)、永原委員(木更津市議会基地政策特別委員会委員長)、松田委員(防衛省北関東防衛局長)、更谷委員(陸上自衛隊木更津駐屯地司令)、山口委員(木更津市企画部長・部会長) 鳩飼委員(牛込漁業協同組合長)、高橋委員(金田漁業協同組合長)、飯塚委員(久津間漁業協同組合長)、江野澤委員(江川漁業協同組合長)、山口委員(木更津市中里漁業協同組合専務理事)、榎本委員(木更津漁業協同組合専務理事) 遠山委員(新宿区長)、小原委員(吾妻区長)、小沼委員(中里1丁目区長)、友野委員(中里2丁目区長)、新堀委員(江川区長)、江尻委員(久津間区長)、本多委員(畔戸区長)		
議 題	○陸上自衛隊V-22 オスプレイの木更津駐屯地への暫定配備に係る現状等について (1)陸自オスプレイの飛行経路・訓練内容の基本的な考え方について (2)陸自オスプレイ部隊の概要について (3)陸自オスプレイの木更津駐屯地への輸送について (4)陸自オスプレイの佐賀空港への配備に係る状況について (5)陸自オスプレイの木更津駐屯地到着後の受入点検について (6)木更津駐屯地における陸自オスプレイの運用について(負担軽減の方向性等) (7)その他(松の木対策について)		
そ の 他	(1)米軍オスプレイ次期定期機体整備会社の入札に係る状況 (2)防衛省におけるPFOS含有消火薬剤の保有状況の修正について		
配 付 資 料	01 会議次第 02 木更津駐屯地に関する協議会委員名簿 03 木更津駐屯地に関する漁業協同組合部会委員名簿 04 木更津駐屯地に関する区長部会委員名簿 05 座席表 06 木更津駐屯地に関する協議会の概要 07 【説明資料①】陸上自衛隊V-22 オスプレイの木更津駐屯地への暫定配備に係る現状等について 08 【説明資料②】米軍オスプレイ次期定期機体整備会社の入札に係る状況 09 【説明資料③】防衛省におけるPFOS含有消火薬剤の保有状況の修正について		
概 要	議題(1) 陸自オスプレイの飛行経路・訓練内容の基本的な考え方について 【説 明】 ●松田北関東防衛局長説明 資料に基づいて説明 【主な質疑応答・意見等】 ○今後、訓練内容を確定させていきたいとのことだが、ある程度内容が確定した時点で改めて説明していただけるということによろしいか。 ⇒具体的な時期は示せないが、内容が決まり次第説明は行っていく。 議題(2) 陸自オスプレイ部隊の概要について 【説 明】 ●松田北関東防衛局長説明 資料に基づいて説明 【主な質疑応答・意見等】 ○無し		

議題(3) 陸自オスプレイの木更津駐屯地への輸送について

【説明】

- 松田北関東防衛局長説明
資料に基づいて説明

【主な質疑応答・意見等】

○現在2機の陸自オスプレイが岩国基地に保管されており、今後、試験飛行も行うとのことだが、岩国基地関係自治体は承知しているのか。

⇒岩国基地関係自治体には情報提供をしており承知している。

○米側のパイロットが陸自オスプレイを木更津駐屯地に輸送後の木更津からの移動手段はどのようになるのか。その移動のために他の航空機が飛来するのか。

⇒米側のパイロットの木更津からの移動手段については現時点では承知していない。

○陸自オスプレイの暫定配備期間については、最初の機体の木更津駐屯地到着時から起算するという事になっているが、7月上旬に1機目が飛来した日が起算日となると考えていいか。

⇒そのとおりである。

○3機目以降の配備スケジュールは今後説明するという事だが、何年度までに配備をするという見通しは、現時点であるのか。

⇒現時点では決まっていない。

○飛来日の数日前にいつ飛んでくるかを示していただきたい。

⇒現時点では約束はできないが、情報提供できるような形で進めていきたい。

議題(4) 陸自オスプレイの佐賀空港への配備に係る状況について

【説明】

- 松田北関東防衛局長説明

防衛省として、陸自オスプレイの佐賀空港への配備に関して、昨年8月の有明海漁協全体に対する説明会に引き続き、昨年9月からは有明海漁協を構成する全15支所の方々へ、順次、説明を実施した。これまでの防衛省からの支所説明を踏まえ、今後、漁協全体として公害防止協定の取扱いに係る議論が本格的に行われるものと理解しているが、防衛省としても佐賀県と協力しつつ、様々な機会を捉え、オスプレイ配備計画について有明海漁協の皆様の理解と協力を得られるよう、努力を続けていく。また、本日、岩田防衛大臣政務官が有明海漁協を訪問し、組合長に対し、漁協内における協議の促進と、防衛省の配備計画に協力いただきたい旨要請したところである。

【主な質疑応答・意見等】

○無し

議題(5) 陸自オスプレイの木更津駐屯地到着後の受入点検について

【説明】

- 更谷木更津駐屯地司令説明

木更津駐屯地における陸自オスプレイの運用については、機体を受領した後、陸上自衛隊により、1ヶ月から2ヶ月程度機体や付属品の点検を行った上で、確認のため試験飛行を行う。試験飛行については、原則として、木更津駐屯地上空、木更津駐屯地の場周経路及び洋上で実施する。より詳細な今後の陸自オスプレイの運用については、陸自オスプレイが試験飛行を開始する前に、改めて説明する。

【主な質疑応答・意見等】

○無し

議題(6)木更津駐屯地における陸自オスプレイの運用について(負担軽減の方向性等)

【説明】

●松田北関東防衛局長説明
資料に基づいて説明

【主な質疑応答・意見等】

○7月上旬に飛来した場合、実際に木更津飛行場で飛行するのは早くても8月上旬からという認識でいいか。
⇒そのとおりである。

○地元への騒音の状況や低周波の影響についてはどう考えているのか。
⇒木更津駐屯地に限らず、航空機を運用している基地においては、そのようなことは重要な課題だと認識しており、防衛省としても十分認識したうえで対応しなければならないと考えている。そのうえで、陸自オスプレイの騒音の程度は、現在木更津駐屯地で運用しているCH-47と同程度と考えているが、対策については必要に応じて木更津市と調整し、適切に対応していきたいと考えている。

○今後、実際に運用していく中で感覚的にうるさくなったという意見も出てくるかと予想されるため、調査を行えるような体制を組んでいただきたい。(意見)

○パイロットの練度を上げるための夜間飛行もあると思うが、夜間の騒音等についても調べていただきたい。
⇒隊員の練度の向上のための夜間飛行については、地元住民に理解いただき感謝している。新たな航空機が配備されたあとの対策については、具体的に考えていく必要があるため、木更津市と相談しながら対応していきたいと考えている。

○事務局の方からこの本協議会について説明があり、木更津駐屯地に配備されている航空機の運用に関する事項を協議する。とあるが、これは陸自オスプレイに限らず、木更津駐屯地内の全ての航空機が協議対象だと考えていいか。
⇒そのとおりである。

○ホバリング訓練は住宅地に近い方ではなく、極力海岸の方でやっていただきたいかがか。
⇒ホバリング訓練は、近隣住民にとっては騒音の問題となっているため、住宅に近い場所での実施は制限する方向で検討している。

○ホバリングの音が一番うるさいと言うが、あれは10mぐらい上がれば音はしなくなる。離陸時の音がジェット機のような音がしてうるさい。以前、自衛隊の方と話をする機会があったが、暫定配備には反対としっかり伝えた。また、夜間飛行がうるさく、木更津駐屯地に電話したことがあるが、訓練だから我慢してほしいと言われた。そんな返事があるかと言いたくなった。(意見)

議題(7)その他(松の木対策について)

【説明】

●更谷木更津駐屯地司令説明

駐屯地周辺住民の方々から意見等があり、駐屯地の松の木の剪定を実施し、合計764本の松の木の剪定を実施した。資料P9をご覧ください。これは駐屯地内側から撮影したものになり、写真左が剪定前、右が剪定後になっている。写真①が中里地区と駐屯地の境になっており、駐屯地の内側から北に向かって撮影したものとなる。写真②が江川区と駐屯地の境になっており、駐屯地の内側から南に向かって撮影したものとなる。今後も引き続き、飛散した松の葉の清掃や松の木の剪定を実施し、住民の生活に支障を来さないよう確実に管理していく。

【主な質疑応答・意見等】

○無し

【全体を通しての質疑応答・意見等】

○駐屯地の海側でホバリングをされると、潮干狩り客への説明がうるさくて出来ない。毎年、潮干狩りの時期は海側でホバリングを実施しないようお願いをしている。オスプレイに限らずCH-47についても海側でのホバリングは避けていただきたい。先ほど、海岸の方でホバリングを実施してもらいたいという話があったが、江川漁業協同組合の立場からすると、駐屯地の中央付近でホバリングを実施していただきたい。
(意見)

○オスプレイの安全な飛行運用に向けた対策についての確認だが、昨年の住民説明会の中では、オスプレイの安全対策の方向性を示していただいたが、改めて、ヒューマンエラーの防止に向けた安全対策について、昨年度の説明と同じ対策を講じるのか、あるいは、新たに加えた対策を講じようとしているのか。

⇒新たな機体を運用することで、万が一にも事故が起きないように米国における訓練を十分に行っているが、リスクをゼロにすることはできない。防衛省としては、オスプレイの機体の安全性に問題はないという評価をしているものの、今ご指摘いただいたヒューマンエラーを低減させるため、自衛隊要員の養成と教育訓練に関して、万全を期している。これは説明会とは変わっていない。

○駐屯地の西側を主に飛行するという一方で、木更津漁協としては、刺し網漁や底引き網漁など、影響があって魚がとれなくなってしまった場合にどのような対応をしているのか。

⇒防衛省の装備品の運用等に伴い、万が一にでも漁業を営む方々に経営上の損失を与え、防衛省に責任がある場合には、関係法令に基づいて、その損失を補償するなどの措置を講じることになる。

○輸送航空隊の新編について、CH-47の部隊である第109飛行隊の説明の中で、陸自オスプレイに搭載が困難な装備品をCH-47で輸送するとの説明があったが、今後、木更津駐屯地に配備されているCH-47が相浦駐屯地に飛んでいくということは想定されるか。

⇒詳細な運用については、まだ決まっていないが、高遊原分屯地に配備されているCH-47を運用することとしている。有事を含めて、木更津駐屯地に配備されているCH-47が飛び立つことも考えられるが、必ず用いるということは一概に言えない。

○今後、陸自オスプレイが暫定配備となって、CH-47との共同訓練も実施されるのか。

⇒運用方法や訓練形態について、決まり次第説明できるものは、積極的に情報提供を行っていく。

○昨年の説明では、陸自オスプレイ17機が揃った場合には、1日平均15回程度の離着陸回数が増加するとの説明があったが、この15回というのは、離陸で1回、着陸で1回というカウントで15回という説明もあったかと思うが、この回数の見込みは変わらないのか。

⇒陸自オスプレイが暫定配備されることに伴う離着陸回数というのは、17機すべてが揃った段階で、その目安として15回程度増加するという説明をさせていただいた。当然、その回数が極端に増加することがある場合には、事前の説明とは異なってしまうため、改めて説明するが、現時点では変更はない。

○本協議会については、定例会ということで年1回と定められているが、まだ現実に1機目が飛来してなくて、1機目が飛来して飛行し始めるのが8月から9月ごろのため、実際に周辺地区にどのような影響が出てくるかというのは、各区長や各組合長もその時期に分かってくると思うので、そのあたりで部会を開催し、その部会の結果は、協議会で共有するべきだと思うがどうか。

⇒協議会は臨時に開催することができるとなっているため、状況を見ながら検討をしていく。

○各地区における個別の問題と、全体の問題がある。例えば、吾妻区と久津間区の問題は違うため、それぞれの個々の問題というのは、これからどのような考えで対応していくのか。

⇒各地区の個々のご要望等については、市の方で対応していく。

○オスプレイがどのような機体かを知ってもらうために、航空祭を待たずに説明を行っていただきたい。また、オスプレイがどのように開発されて、どのような機体なのかというようなことを、周辺住民にも共有していただきたいと思っているがどうか。

⇒オスプレイの安全性について理解いただくことは、極めて重要であると考えているため、機体の展示や体験搭乗、安全性に関する説明の機会を設けることについては、木更津市と相談して対応していく。

【その他】

(1)米軍オスプレイ次期定期機体整備会社の入札に係る状況

【説明】

●松田北関東防衛局長説明
資料に基づいて説明

【主な質疑応答・意見等】

○無し

(2)防衛省におけるPFOS含有消火薬剤の保有状況の修正について

【説明】

●深和北関東防衛局企画部長説明
資料に基づいて説明

【主な質疑応答・意見等】

○無し